



ウイルス禍の中でも

校長 須貝 克徳

今年度も、全国的に新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからない状況のままの新学期がスタートしました。そんな中でも、マスクの着用、手指の消毒、三密の回避をはじめ、基本的な感染予防対策を講じながら、1学期の教育活動を進めて参りました。

年度当初のPTA委員会の際に、ある保護者の方から、「去年は、いろいろなことが中止になったり、延期になったりしたので、今年は、子どもたちには、いろいろな経験をさせてあげたいです」というお話がありました。学校としても、そのような保護者の方の御要望にお応えしたい、そして何よりも「子どもたちの笑顔が見たい！」という思いがあり、感染対策を講じつつ、昨年できなかったり制限が多かったりした活動の見直しを図りながら実施して参りました。

運動会や修学旅行は延期することなく実施できました。学習参観も例年通りの回数で実施することができました。校外学習や、外部講師の方との交流も積極的に行いました。2年ぶりにプール水泳の授業も実施できました。PTA活動や学校運営協議会の活動も軌道に乗ってきました。感染拡大が懸念される中でも、対策を講じながら、様々な教育活動を行い、大過なく1学期を終えることができました。保護者の皆様、ご理解、ご協力に感謝申し上げます。

さて、佐渡市でも、7月下旬に感染者が出始めたことを受け、夏休みに入っすぐに予定されていた地域プールが中止になり、ラジオ体操の実施についても、慎重な判断を余儀なくされています。ラジオ体操につきましては、学校運営協議会から、地域の皆様にも、子どもたちと一緒にやりませんか？とお誘いをしていた手前、中止になった地域もあり、地域の皆様には、大変ご迷惑、ご心配をおかけしております。既にご覧になった方もいらっしゃるかと思いますが、中止になった地域には、ラジオ体操の会場に中止のお知らせを掲示させていただきました。参加しようと思われていた地域の皆様におかれましては、今一度確認をお願いします。

この夏休みは、新型コロナウイルスの影響で、1年延期された2020東京オリンピック、パラリンピックが行われました。連日伝えられるアスリートたちの活躍や、栄光の陰にある工夫や努力、精神力の強さに元気と勇気をもらった子どもたちも多かったと思います。子どもたちには、感染予防に十分に配慮しつつ、この夏休みで、普段学校では経験できない様々なことに挑戦し、1回りも、2回りも成長して、2学期を迎えてほしいと願っています。

